



町長室だより



6月12日から16日まで開かれた6月定例議会での町長の提案理由説明などを要約してお知らせします。

金山町は日本の縮図

先月20日に内堀知事が来町され意見交換を行い、様々な課題や今後の取り組みなどについてアドバイスをいただきました。県も町も大小の差こそあれ、課題の多くは共通しています。いわば金山町は福島県の縮図であり日本の縮図であると思います。その共通の課題とは人口の減少であり少子高齢化です。このことは町の振興計画でもうたっていることではありませんが、改善への道のりは非常に険しいといわざるを得ません。国が提唱する「地方創生」も計画・実施・評価・改善のサイクル

を上手に回すことが重要であると述べています。地方の人口減少に歯止めをかけ、若者のふるさと回帰を促す「地方創生」こそ、我が金山町のためにあると思います。そのことをしっかりと認識した上で総合戦略を策定して参りたいと考えています。

只見線とヒメマス

只見線の全線復旧に向けた取組もこれまで以上に危機感を持って臨む必要があります。いまだ先が見えない極めて厳しい状況ではありますが、鉄道軌道整備法の改正については、国会議員の賛同者も当初の倍以上になり、議員連盟の会長も決定しました。引き続き県・関係市町村と連携・協力して、只見線の早期全線復旧を、国、JRに対して求めていきます。

沼沢湖のヒメマスについて

は、東京電力との交渉を重ねていますが、いまだ満足のいく回答を得られていません。ヒメマスは町の貴重な資源であり、今後ともその保全に向け、必要な対策をしっかりと行っていきます。

安全・安心の確保

只見川の防災対策につきましては、平成23年豪雨災害を受けての「只見川圏域河川整備計画」が県から示され一日も早い計画の実行が望まれますが、地区住民のみなさんのご理解とご協力が整わなければ工事に至ることができません。町としても6月から行っている地区懇談会で、該当する地域には丁寧に説明を続けていきます。地域住民の安全・安心の確保は、町が最優先に取り組むべき課題であり、なお一層の努力をしていきます。

専決処分に関する承認

▼税条例等の一部改正については、軽自動車税の税率適用等に関する改正。

▼国民健康保険税条例の一部改正については、国税の限度額等に関する改正。

▼平成26年度一般会計補正予算(第13号)は譲与税、地方交付税等の額の確定に伴う補正。

▼平成27年度一般会計補正予算(第1号)は平成27年4月に発生した三更地内の町道野尻線地滑り対策に伴う補正。

以上4つの専決処分は承認されました。

平成27年度補正予算(第2号)

平成27年度補正予算(第2号)は1億1,407万円の

増額補正となり、その主な内容をお知らせします。

福島県観光力づくり支援事業

・奥会津金山赤カボチャ大収穫祭を開催するための委託料やポスター・チラシ作成費用に106万円。

・大塩、滝沢地区天然炭酸水や炭酸温泉の観光素材の開発に向けた調査委託料に194万円。

地域創生総合支援事業

・「炭酸の町」で集客をはかするため、女性をターゲットにしたモニターツアーや地質調査等に770万円。

・町の特産品のエゴマ、赤カボチャの生産拡大と品質向上を図るための搾油器や糖度計購入等に305万円。

地域特産農作物

生産振興補助金

・赤カボチャ栽培用パイプハウス導入のための補助金13

5万円。

多面的機能支払交付金事業

・加入集落の増加分に193万円。

マイマイガ対策

・学校や老人福祉センター、道の駅等の町有施設の街路灯をLEDに交換するための費用に691万円。

・投光器の借上料や薬剤費等の購入に75万円。

マイナンバー制度導入

・国で進めているマイナンバー制度に対応するためのシステム改修に要する経費に100万円。

消防施設の整備

・消防サイレン塔の整備に100万円。

国道改良に伴う移転

・国道252号線本名バイパス工事に伴う橋立地区のバス停や街路灯等の移転等のための経費870万円。

林道の災害復旧

・林道本名・室谷線の橋梁設計委託と仮橋設置のための費用に680万円。

介護保険料に対する

低所得者の負担軽減

・低所得者の介護保険料に対する負担軽減の費用に94万円。



報告

・平成26年度の繰越明許費繰越計算書

・会津若松地方土地開発公社の経営状況について

・株式会社奥会津金山大自然経営状況について

以上3つについて報告しました。